



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 積水樹脂株式会社

コード番号 4212 URL <http://www.sekisuijushi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 彌一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 菊池 友幸

TEL 06-6365-3204

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	42,111	8.7	5,240	6.8	5,232	4.0	2,980	0.3
23年3月期第3四半期	38,738	0.9	4,906	△1.6	5,032	0.2	2,972	9.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,666百万円 (1.2%) 23年3月期第3四半期 2,635百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	67.05	—
23年3月期第3四半期	66.90	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	83,715	58,498	69.1
23年3月期	84,002	56,820	67.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 57,841百万円 23年3月期 56,264百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	13.00	21.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 23年3月期期末配当金の内訳 普通配当8円 特別配当5円

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	8.6	8,600	4.5	8,600	2.1	4,700	3.0	105.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	47,313,598 株	23年3月期	47,313,598 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,863,038 株	23年3月期	2,860,964 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	44,451,743 株	23年3月期3Q	44,433,734 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響で景気は足踏み状態にあるなか、電力供給不安をはじめ原材料価格高騰、タイ王国の洪水被害の発生に加え、欧州での金融・財政危機などを背景とした急激な円高の進行や世界的な景気低迷の影響をうけるなど、厳しい状況で推移しました。

このような経営環境下において、当社グループは、中期経営計画「JEX-2013 (Jushi-Expansion2013)」の2年目となる今年度を、目標達成のための重要な年度と位置づけ、売上拡大に向けた新規事業領域・用途開拓などの販売戦略に注力するとともに、工場の生産性向上など原材料価格高騰への対応を行ってまいりました。さらには、グローバル戦略の一環として、タイ王国において事業会社を買収し、7月1日よりセキスイジェシ (タイランド) Co., Ltd. として事業活動を開始いたしました。

一方、国内におきましては、溶着材に加え新しくペイント材事業の取得を含めた道路標示材の事業譲受により、総合的な道路塗料事業の確立を行いました。

また、昨年5月に東日本復興プロジェクトを発足し、被災地におけるボランティア活動や復旧に向けた技術支援などを行うとともに、宮城県の当社関係会社敷地内に減災対応製品などの屋外展示場を新設し、災害に強い街づくりに向けた提案を行うなど、被災地の一日も早い復旧・復興に貢献できるよう取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は421億1千1百万円 (前年同期比8.7%増)、営業利益は52億4千万円 (前年同期比6.8%増)、経常利益は52億3千2百万円 (前年同期比4.0%増)、四半期純利益は、税制改正に伴う法人税率の変更による影響に伴い、29億8千万円 (前年同期比0.3%増) となりました。

#### ①都市環境関連事業

防音壁は、アルミ枠透明板が第二東名自動車道に採用されるなど大幅な売上増となりました。また、交通安全製品は、公益財団法人交通遺児育英会に寄付する活動を行っている車線分離標「ポールコーン」が、道路整備事業等に使用され売上伸長しましたほか、路面標示材は、高い視認性をもつ高機能標示材が好調に推移しました。人工芝は、スポーツグラウンドなどの大型物件の受注などにより売上を伸ばすとともに、人工木材は、耐候性に優れた「スーパーオレンジウッド」が建築外構向けデッキ等に採用され堅調に推移しました。

この結果、都市環境関連事業の売上高は125億9千9百万円 (前年同期比12.2%増)、営業利益は20億1千5百万円 (前年同期比7.6%増) となりました。

#### ②街路・住建関連事業

高欄は、橋梁工事減少の影響を受け売上減少となりましたが、歩行者用防護柵は、地域別に対応した販売活動などにより堅調な成績を収めました。シェルター製品は、都市景観にマッチする意匠性の高さが評価され、駅前通路やバス停に設置されるなど順調な伸びを示しました。メッシュフェンスは、東北被災地区の復旧対策として仮設住宅などの外構に採用されましたほか、マンションや商業施設の建築増加に伴い大きく売上伸長しました。めかくし塀は、プライバシー保護と防犯意識の高まりを背景に大幅な売上増を示し、メタカラー建材は、店舗用陳列ケースの化粧パネルなどへの用途拡大により好調に推移しました。また、アルミ樹脂複合板は、軽量性、加工性が評価され仮設住宅の玄関ドアに採用されましたほか、鉄道車両向けの新規需要開拓により順調な成績を収めました。

この結果、街路・住建関連事業の売上高は160億8千8百万円 (前年同期比7.3%増)、営業利益は22億6千3百万円 (前年同期比7.9%増) となりました。

#### ③産業・生活関連事業

包材関連製品は、主力の梱包用バンドが景気低迷に伴う物流量減少や円高による輸入バンドの影響により厳しい状況で推移しました。デジタルピッキングシステム製品は、大手食品メーカーなどに採用され売上伸長しました。一方、組立システムパイプ製品は、自動車関連分野への販売が低迷しましたものの、介護福祉施設などへの新規の販路拡大を行いました結果、堅調な成績を収めました。生活関連製品は、大手量販店への新規販路開拓や、地震対策需要の高まりにより家具転倒防止ポール等が順調な伸びを示しました。緑関連製品は、主力の農園芸用支柱が東日本地域において震災の影響により受注減少となるなど前年同期並みの成績となりました。

この結果、産業・生活関連事業の売上高は、当第3四半期よりセキスイジェシ (タイランド) Co., Ltd. が新たに貢献したことにより、134億3百万円 (前年同期比7.3%増)、営業利益は15億2千万円 (前年同期比1.4%増) となりました。

#### ④その他事業

保険手数料収入の増加により、売上高は2千万円 (前年同期比0.8%増)、営業利益は1千1百万円 (前年同期比7.4%増) となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産の状況

#### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億8千6百万円減少し837億1千5百万円となりました。主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ16億7千8百万円増加し584億9千8百万円となりました。主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。純資産から少数株主持分を控除した自己資本は578億4千1百万円となり、自己資本比率は69.1%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円増加（前期比0.6%増）し、208億1千5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益52億1千1百万円に加え、売上債権の減少等による資金増加の一方、たな卸資産の増加や仕入債務の減少、法人税等の支払いを行った結果、27億4千5百万円の収入となりました。（前年同期は40億4千1百万円の収入）

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券や新たな子会社株式の取得、事業譲受等により、7億9千4百万円の支出となりました。（前年同期は32億6百万円の支出）

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少や配当金の支払い等により、18億5百万円の支出となりました。（前年同期は8億9千万円の支出）

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表しました「平成24年3月期 第2四半期決算短信」における業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,696	20,815
受取手形及び売掛金	24,241	21,697
商品及び製品	2,752	3,842
仕掛品	783	1,042
原材料及び貯蔵品	2,431	2,857
その他	2,854	2,917
貸倒引当金	△52	△42
流動資産合計	55,707	53,130
固定資産		
有形固定資産	16,184	16,457
無形固定資産	123	395
投資その他の資産		
その他	12,181	13,920
貸倒引当金	△193	△187
投資その他の資産合計	11,987	13,732
固定資産合計	28,295	30,585
資産合計	84,002	83,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,202	13,947
短期借入金	2,290	2,250
未払法人税等	2,324	1,169
引当金	753	483
その他	3,793	3,680
流動負債合計	23,364	21,531
固定負債		
退職給付引当金	3,443	3,445
役員退職慰労引当金	18	22
その他	355	218
固定負債合計	3,817	3,686
負債合計	27,182	25,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,334	12,334
資本剰余金	13,187	13,187
利益剰余金	33,102	35,059
自己株式	△1,933	△1,934
株主資本合計	56,691	58,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254	△41
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△681	△762
その他の包括利益累計額合計	△427	△804
少数株主持分	555	656
純資産合計	56,820	58,498
負債純資産合計	84,002	83,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	38,738	42,111
売上原価	26,569	29,438
売上総利益	12,169	12,673
販売費及び一般管理費	7,262	7,433
営業利益	4,906	5,240
営業外収益		
受取利息	48	52
受取配当金	112	93
負ののれん償却額	59	49
その他	110	46
営業外収益合計	331	242
営業外費用		
支払利息	123	123
為替差損	27	70
その他	54	56
営業外費用合計	205	250
経常利益	5,032	5,232
特別利益		
負ののれん発生益	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
固定資産除売却損	20	11
投資有価証券評価損	—	9
減損損失	4	—
特別損失合計	25	21
税金等調整前四半期純利益	5,031	5,211
法人税等	2,004	2,165
少数株主損益調整前四半期純利益	3,026	3,046
少数株主利益	54	65
四半期純利益	2,972	2,980

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,026	3,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	△299
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△207	△83
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	3
その他の包括利益合計	△391	△379
四半期包括利益	2,635	2,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,581	2,602
少数株主に係る四半期包括利益	54	63

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,031	5,211
減価償却費	995	917
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△326	△233
負ののれん発生益	△23	—
売上債権の増減額 (△は増加)	5,796	2,640
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,084	△1,654
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,761	△424
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9
その他	△1,267	△500
小計	7,358	5,966
利息及び配当金の受取額	155	144
利息の支払額	△117	△118
法人税等の支払額	△3,354	△3,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,041	2,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△371	△340
投資有価証券の取得による支出	△1,501	△301
連結子会社株式の追加取得による支出	△34	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△300	300
その他	△998	△451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,206	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8	△799
配当金の支払額	△888	△996
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△890	△1,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	△26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107	118
現金及び現金同等物の期首残高	19,395	20,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,287	20,815

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,226	14,999	12,491	38,718	20	38,738
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	3	117	121	10	132
計	11,226	15,003	12,609	38,839	31	38,870
セグメント利益	1,874	2,096	1,498	5,469	10	5,479

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,469
「その他」の区分の利益	10
全社費用（注）	△573
四半期連結損益計算書の営業利益	4,906

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,599	16,088	13,403	42,091	20	42,111
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	6	134	141	9	150
計	12,599	16,094	13,538	42,232	30	42,262
セグメント利益	2,015	2,263	1,520	5,799	11	5,810

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,799
「その他」の区分の利益	11
全社費用（注）	△569
四半期連結損益計算書の営業利益	5,240

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。